

北里大学
同窓会
福井県支部

会報

No.16
2007. 3



福井県支部ホームページ

URL <http://www9.ocn.ne.jp/~kitafuku/>
E-mail kitasato-fukui@arion.ocn.ne.jp



『叡知と実践』 薬学部1号館で撮影

目次

■ 大学の改革と個人情報の取り扱いについて	清水賢涼	1
■ 福井紀行	稲垣浩之	2
■ 福井訪問記	丸山浩一	3
■ 福井県支部会員数の変遷		4
■ 名簿発行についてのアンケート調査結果		5
■ 個人情報保護ポリシー		5
■ 平成17年度福井県支部総会・懇親会を開催		6
■ 近況報告	吉村 肇	7
■ 長野県支部ホームページの紹介		7
■ 福井県支部の歩み		8
■ 会計報告		9
■ 今、思うこと		10
■ あしあと		10



翠ヶ池



クロユリ

表紙写真：白山遠望（勝山市より）

今年は暖かい日が続き、降雪も僅かでした。奥越の田んぼには、前日に降った雪がうっすらと積もっていました。（平成19年2月3日撮影）

白山（標高2,702m）はNHK「日本の名峰50山」で13位に選ばれた。比較的険しいと言われているが、何回も登っている人が多い魅力的な山である。富士山、立山と共に日本三名山（三霊山）の一つ。泰澄大師により717年（養老元年）に開山された。修行者の為に加賀、越前、美濃禅定道があり、その起点は馬場と呼ばれ白山信仰の拠点となった。加賀禅定道の起点である「加賀馬場」は現在の「白山比咩神社（しらやまひめじんじゃ）」で、山頂にはその奥宮がある。高山植物は「クロユリ」が有名で「ハクサンイチゲ」や「ハクサンフウロ」など「ハクサン」を冠する植物は30種を超える。

今、福井県支部は…

大学の改革と個人情報の取り扱いについて

同窓会会員の皆様には、ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。また、日頃は、当支部の活動に種々ご協力をいただきありがとうございます。

平成17年度の総会は支部として初めて泊まりがけで行い、大学から医療衛生学部教授の丸山先生、本部同窓会からは稲垣理事をお迎えして開催しました。

丸山先生から大学の様子を伺う中で、少子化による志願者減少で学校間の学生確保競争がますます激しくなっており、これに対応するために大学本来の目的である教育・研究を質的に向上させ、学生に魅力ある大学とするための不断の改革が必要であるとのことでした。

具体的には、

- ①生命科学の総合大学として、チーム医療教育を充実させるため、各科横断的な教育を行う。
- ②産業衛生学が外から見えにくいため、健康学科として独立し、一次予防教育に力を注ぐ。

臨床検査学は、医療検査学科に名称変更する。これらは、平成18年度から実施する。とのことでした。

今日の大学及び医療環境を取り巻く環境が一段と厳しくなる中で、本学の理念である叡智と実践・不撓不屈の精神をもって乗り越えていただきたいと願っています。

稲垣理事からは、

- ①会報をカラー化し、紙面を刷新する。
- ②個人情報の管理については、学園と連携しながら保護規定に則って行う。

北里大学同窓会
福井県支部支部長 清水賢涼

とのことでした。会報については、カラー化・大型化し、読みやすくなったと感じています。

さて、名簿などに関する個人情報の保護について、名簿発行に関するアンケート調査を行いました。その結果は次のとおりです。

- ①名簿の発行について、回答のあった内90%の会員が肯定的と見られました。
- ②発行頻度については、2～3年毎が良いとする会員が70%超でした。

今後の名簿発行については、この調査結果を基に、編集内容に関する意見などを参考にして、2～3年毎でよいかと考えています。

なお、会員の個人情報保護については、本部同窓会において「北里大学同窓会の個人情報保護方針」及び「北里大学同窓会における個人情報の保護に関する基本規定」を定め、慎重に取り扱うこととなっていますので、当支部もこれに準じて取り扱いたいと思います。

昨今、少子高齢化による社会の歪みが喧伝されていますが、支部同窓会の役員も高齢化し、総会への参加者も高齢化していますので、体制の若返りが必要と考えています。若い会員の方のご協力を是非ともよろしくお願い致します。



福井紀行

秋も深まった平成17年10月29日、あわら温泉において開催された福井県支部同総会に参加させていただきました。

今回は全学同窓会代表としての出席でしたが、実は私にとって今回の支部総会参加が初の福井県訪問でした。羽田空港から飛び立ち、機内サービスのコーヒーを飲み終わる前に機体は小松空港に向けて降下を始め50分ほどで小松空港に到着。神奈川県のお宅から約2時間半で小松空港に降り立つことができ、福井県がぐっと身近に感じられました。

JR小松駅に移動して時刻表を見ると、総会の集合時間までは少々時間があつたので、「先ずはご当地の食文化を体験しておかなくては」と思い、少々寄り道をして名物の「ソースカツ丼」と「越前おろしそば」を味わいました。シンプルでどこか懐かしいソースカツ丼の味わい、そばのうまみと大根の辛みの調和に感激しつつ、あわら温泉に向かいました。

総会には、学園教職員代表来賓として医療衛生学部臨床放射線学教授丸山浩一先生をはじめ、福井県支部会長の清水さん、衛生、医療衛生、薬学、獣医畜産の各学部出身者の方々が総勢10名が参加されました。総会は、私から全学同窓会の近況報告をさせていただき、丸山先生からは大学の近況についてのお話などがありました。

総会終了後は、あわら温泉の柔らかなお湯で汗を流し、懇親会となりました。懇親会では大学の近況に関する話題、白金、相模原での学生生活の思い出から職場での苦労談など、美味しい料理と地酒に酔いながら、諸先輩方

北里大学同窓会
支部担当常任理事 稲垣浩之

と交流を持つことが出来、大変楽しい支部総会参加となりました。

ただ、今回の福井県支部総会参加にあたり、もう少し時間に余裕を持って行動できればと悔やんでおります。福井県は歴史的各勝や古刹も多く、永平寺などへ足を延ばす時間を持ちたかったのですが、今回の訪問ではかなわず残念でした。また、個人的にですが釣りが趣味でサクラマスを狙っており、今回訪れたあわら温泉の近くを流れる九頭龍川は、全国的にもサクラマスが多数遡上する川として知られ、いつかは九頭龍川で竿を振ってみたいと考えています。

今回の支部総会参加をきっかけに、福井がより身近に感じられました、次の機会には是非歴史と自然に触れる旅をしたいと考えております。

末筆になりますが、手厚く歓迎してくださいました清水支部長をはじめとした支部会員の皆様に感謝を申し上げます。

福井訪問記

同窓会事務局の佐野事務局長から、妹尾医療衛生学部事務長を通して、福井県支部の総会に出席して、学園の近況などをご報告するようにとのご依頼があったのは、9月のことでした。県支部の活動に興味があったことと、会場がまだ訪れをことのない芦原温泉とのことでお引き受けしました。

10月29日(土)、羽田から僅か1時間で石川県の小松空港へ、そこからJRを使ってあわら温泉のホテル「越路」には午後2時に到着しました。飛行機を揺らした雨雲が通り過ぎて晴れ上がり、そこは目の前の麦畑が開けた開放的な場所でした。午後3時過ぎには、支部長の清水賢涼さんをはじめ、会員の方々が順次お着きになりご挨拶申し上げました。4時からの総会には、支部の8名、同窓会本部理事の稲垣さん、私の10名が揃いました。支部会員は100名を越えるとのことでした。

清水支部長から福井県支部の活動状況、今後の課題などのご紹介があり、稲垣理事がご挨拶され、続いて私は北里学園の近況について約30分お話を致しました。柴学長・理事長先生の第16期執行部の方針とこれまでの成果、今後の予定などについて評議員会での資料に基づきご紹介しました。

50周年記念事業検討に着手していること、新体育館の建設が始まること、学部改革が実施されていること、学園の財政状況に改善が見られることなど皆様の印象に残ったようです。衛生学部ご出身の会員が多かったので、医療衛生学部の改組に伴い新たに健康科学科と医療検査学科が発足する運びになった経緯についてもご紹介しました。時代の流れに取り残されないよう前進することが必要であるとの斎藤医療衛生学部長のお考えは、出席の皆様からご了解が得られたと感じました。

医療衛生学部
臨床放射線学 教授 丸山 浩一



医療衛生学部の校舎

清水支部長からは、文書では知っていることも多いが話として聞いてみると実感できる旨の言葉をいただき、閉会となりました。出席予定者表に入っていなかったのですが、私の教え子である診療放射線技師の吉村君が忙しいなか駆けつけてくれたことは嬉しい驚きでした。

あわら温泉は福井県では代表的な温泉とのこと、懇親会の前にひと風呂浴びてさっぱりしました。福井県は海、川、山もある土地です。甘エビ、鯛のお刺身、和牛など文字どおり山海のご馳走を頂きながら、懇親会は実に楽しいひとときでした。

清水さんは福井市役所で後輩の江島さんと上水関係のお仕事をされているとのこと、福井県庁には食肉の川端さんと廃棄物処理や食品管理の上田さんが鳥インフルエンザやダイオキシン汚染など、地域の環境問題に第一線で取り組んでおられます。福井県立病院にお勤めとの宮越さんと福井県済生会病院にお勤めで紅一点の前川さん(旧姓中山さん)からは診療現場の話をお聞かせいただきました。中山さん持参の地酒、ワイン、焼酎が持ち込まれ、料理とアルコールで話は一層盛り上がりました。部屋へ会場を移しての二次会では11時過ぎまでゆっくりと語り合うことが出来

ました。出身地の福井県でしっかりと生活の地盤を固め、いい仕事をしている卒業生の皆さんに敬意を表するばかりでした。

翌日は晴天に恵まれ、清水支部長に近くの東尋坊をご案内頂きました。天候に恵まれ程良い風もあって、滅多に無いほどの好条件とのことでした。波しぶきが柱状石に打ちつけ白波がくだけ散る様子は、しばし離れがたい素晴らしい景色でした。福井名物のおろし蕎麦で昼食をとった後、小松空港までお見送りいただいた清水支部長さんに心から感謝申し上げます。

福井県支部の皆様方、有難うございました。今後のご発展を祈念致します。



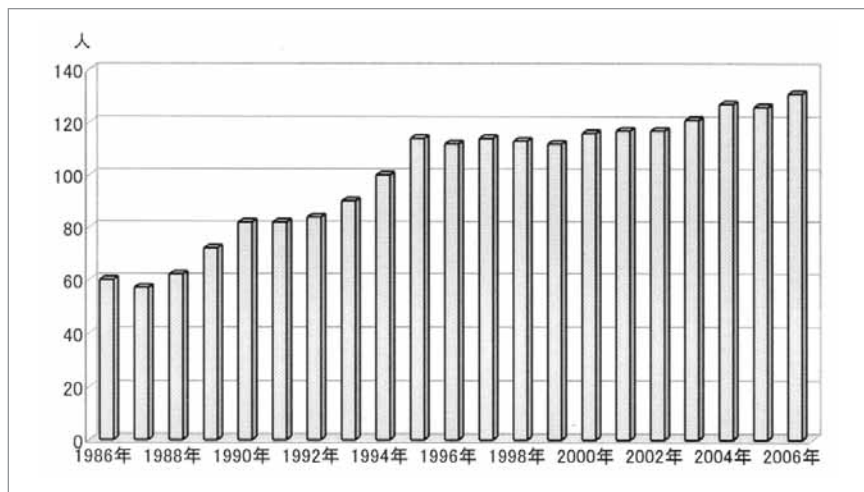
東尋坊（坂井市三国町）

総会后、すぐに稲垣理事並びに丸山教授から原稿をいただきました。ご紹介が遅くなってしまったこととお詫び申し上げます。

福井県支部会員数の変遷

昭和61年(1986)～

昭和61年に福井県支部が設立されてから、今年で22年目を迎えました。そこで、設立以来の会員数(会員名簿に記載されている方々)の変遷をグラフで表しました。設立当初の60人に比べ、現在は131人と2倍に増えました。



名簿発行についてのアンケート調査結果

昨今の個人情報保護の高まりを受けて、当支部の名簿の取り扱いについてアンケート調査を行ったところ、対象会員118名の内40名から回答があり、次のような結果となりました。

〔設問1〕名簿の発行について

- ① 発行してほしい 23
- ② 発行しなくてよい 4
- ③ どちらでもよい 13

〔設問2〕発行する場合、発行頻度について

- ① 毎年 6
- ② 2～3年毎 25
- ③ 5年程度 4

この結果をみると、名簿の発行については、約半数の会員が発行を希望しており、どちらでも良いを合わせると90%の会員が発行に肯定的とみられます。また、発行頻度について

は、2～3年毎でよいとする会員が70%超でした。

名簿に記載している個人情報については、個人情報保護法の定めもあり慎重に取り扱わなければならないものであります。しかしながら、同窓会活動を行うには名簿の記載内容の逐次改定・整理は必要なものでもありますので、このアンケートの調査結果を参考にして2～3年毎の発行にしようと考えています。

なお、名簿発行の有無に関わらず、住所などは事務連絡に必要となりますので、従来どおりお聞きしたいと考えています。その際、名簿発行の参考に、各項目の記載の諾否のチェック欄を設けたいと思いますので、会員の皆様のご理解とご協力をお願い致します。

北里大学同窓会福井県支部

個人情報保護ポリシー

北里大学同窓会福井県支部は、会員の個人情報の重要性を認識して大切に扱うとともに、会員により良い情報・サービスを提供する為に以下の取り組みを推進し、責任を持って会員の個人情報を保護致します。なお、下記の条項において、「個人情報」とは氏名・生年月日など特定の個人を識別できる情報を指します。

1. 法令等の遵守

北里大学同窓会福井県支部（以下「本会」）は、個人情報保護法、その他個人情報に関し適用される法令・規範などを遵守致します。

2. 管理体制

本会は、会員個人情報の取り扱い及びシステムに関して、実施に際しての細則等必要な規約を策定するとともに、本会代表理事を管理者として組織を整備し、個人情報保護を遵守する体制を構築します。

3. 個人情報の収集

本会は、会員個人情報を収集する場合、利用目的を明示して会員本人の同意を得た上で、その目的達成に必要な範囲の個人情報を収集致します。

4. 個人情報の利用

本会は、会員個人情報を利用する場合、利用目的の範囲内でのみ利用することとし、本人の同意なしで個人情報の目的外利用は行いません。

5. 正確性の確保

本会は、会員の個人情報を正確かつ最新の

状態に保つよう、適切な措置を講じます。

6. 安全管理措置

本会は、会員の個人情報を厳重に管理し、正アクセス・紛失・破棄・改ざん・漏洩等に対する予防措置及び安全対策を講じます。

7. 内部教育

本会は、会員及び会員の個人情報を扱う全ての担当者を対象に個人情報保護について教育訓練を行い、その内容を本会内に周知徹底させます。

8. 第三者への開示・提供の制限

本会は、会員より収集した個人情報を適切に管理し、次のいずれかに該当する場合を除き、いかなる第三者にも開示・提供致しません。

- (1) 法令による場合
- (2) 本人の同意がある場合

9. 個人情報の照会・訂正・削除

本会は、会員の個人情報の照会・訂正・削除などが、会員本人、または法令等の規定に基づいたものであった場合、必要な範囲にて速やかに対応致します。

10. 法令・規範の遵守と見直し

本会は、個人情報の取り扱いに関する規程及びそれを実行する為の組織体制について、有効かつ適正な運用が継続的になされるよう必要に応じて見直しや改善を図ってまいります。



平成17年度 福井県支部 総会・懇親会を開催

平成17年10月29日 (土)

平成17年度の福井県支部総会・懇親会が
あわら市内の旅館「越路」で開催されました。
この度の総会は、支部として始めて泊まりが
けで行われました。

総会は、本部から丸山浩一教授（医療衛生
学部診療放射線技術科学専攻）と稲垣会報担当
理事が出席され、会員は8名（委任状37名、
年会費を納入されておられるのは31名）の出
席がありました。会員の中には丸山先生の教
え子もおられました。

総会では、丸山先生から大学の様子や取り

組まれている課題、稲垣理事からは本部同窓
会の活動などのお話があり、前年度の支部活
動及び会計報告がありました。

その後の懇親会では、まずは自己紹介と始
まったものの、各自の味のある話題に引き込
まれ、せっかくの料理に舌鼓を打つ暇もなく、
お酒を味わう間もなく、時間が過ぎるのを忘
れる程でした。さらに、懇親会の後は部屋で
二次会と、夜更けまで四方山話に花が咲いま
した。



江島昌希	吉村肇	宮越伸治	上田孝	前川とも子
川端與一郎	清水賢涼	丸山浩一	稲垣浩之	坂川嘉人

(敬称略)

近況報告

大学を卒業し、現在の職場に就職して3年と数ヶ月が経ちました。自分自身、仕事もプライベートも特に大きな変化がなく、報告するようなことも無いいため、今家で飼っている犬についてお話させていただきたいと思いません。

今、家にいる犬はパピオンという種類で、今年で8年目になります。今まで大きな病気もせず元気に暮らしてきたのですが、2ヶ月ほど前から元気が無くなり食欲も落ちてきたため、動物病院へ連れて行きました。その時、発熱があったため精密検査目的で入院となりました。今まで何匹かペットを飼ってきましたが、病院へ連れて行ったことはなく、入院させるなど全く経験の無いことでした。まるで家族が入院したかのような感じで、犬の事ばかり考えるような状態でした。

数日後、検査結果を聞きに病院に行くと、原因は分からないが「出血性大腸炎」という人間と同じような病気にかかっていたことを知らされました。人間と同じように、きちんとした病名が付いていた事にも驚きましたが、その診断を下すために血液検査、レントゲン写真、超音波検査など、たくさんの検査を行

吉村 肇

(平成15年医療衛生学部医療工学科卒業)



っていた事にもびっくりしました。

現在は退院し、家での生活に戻りましたが、長期の経過観察が必要なようでステロイド薬中心の治療中です。犬が病気になった事により、家族が犬中心の生活に変わりました。毎日餌の残量、便、尿の状態を観察して様子を見ている状態です。職場の同僚や友人にこの話をすると、「犬のために何もそこまでしなくても」と馬鹿にされたり笑われたりしますが、自分自身でもここまで心配し、ここまで振り回されるとは思わなかったのです。

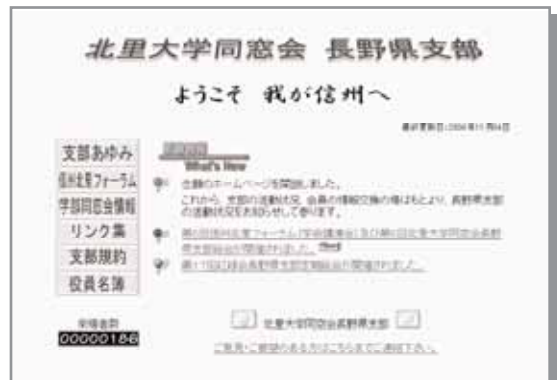
大袈裟かも知れませんが、ペットが病気になって初めてその存在の大きさに気付かされた感じがしました。これからも家族の一員として長生きしてほしいものです。

長野県支部ホームページの紹介

平成18年10月に長野県支部ホームページが開設されました。都道府県の支部では福井県、宮城県に次いで3番目です。

『信州北里フォーラム』などが紹介されていますので、是非ご覧ください。また、支部の組織や活動状況がよく分かり参考になります。

これから長野県支部が益々発展されることをご祈念申し上げます。そして、ホームページを通じて長野県支部のみならず多くの支部の皆様と交流が出来ることを願っています。



URL <http://www7a.biglobe.ne.jp/~kitasato-nagano/>

E-mail kitasato-nagano@kuh.biglobe.ne.jp

福井県支部の歩み

昭和61年(1986)～

昭和61年の設立以来、福井県支部では毎年総会・懇親会を開催し、不定期でしたが家族行事の開催、会報・名簿の発行を行ってきました。その歩みを振り返ってみましたので、どうぞご覧ください。

昭和61年度	6月22日 支部設立総会 会 場：福井厚生年金会館(福井市) 出席者：14名(本部から柴会長) 懇親会(同所) 参加者：会員14名、柴会長
昭和62年度	6月28日 総 会 会 場：グリン英(福井市) 出席者：14名(本部から坂口副会長) 懇親会(同所) 出席者：会員12名、坂口副会長 会報[第1号]、名簿発行
	8月1日 8月23日 バス旅行(明治村、犬山モンキーセンター) 参加者：会員4名・家族15名
昭和63年度	11月13日 総 会 会 場：割烹茶太(福井市) 出席者：14名(本部から針谷理事) 懇親会(同所) 参加者：会員12名、家族6名、針谷理事 ボーリング大会(ベルポウル) 参加者：会員10名・家族2名
平成元年度	11月12日 総 会 会 場：グリン英(福井市) 出席者：13名 懇親会(同所)
	3月17日～18日 参加者：会員12名、家族1名、スキーツアー(赤倉) 参加者：1名(富山、石川と合同)
平成2年度	6月4日 会報[第2号]、名簿発行
	6月24日 総 会 会 場：ユアーズホテル フクイ(福井市) 出席者：15名 懇親会(同所) 参加者：会員15名、家族1名、
平成3年度	6月9日 総 会 会 場：六呂師高原温泉ピクニックガーデン(勝山市) 出席者：9名(本部から松山会長) 懇親会(同所) 参加者：会員9名、家族12名、松山会長
	1月4日 会報[第3号]、名簿発行
平成4年度	6月21日 総 会 会 場：ふるさと道場(池田町) 出席者：10名 懇親会(同所) 参加者：会員11名、家族22名
	3月25日 会報[第4号]、名簿発行
平成5年度	6月17日 総 会 会 場：イタリア料理 チャオ(福井市) 出席者：16名(本部から鈴木副会長) 懇親会(同所) 出席者：会員16名、鈴木副会長
	3月6日 スケート大会 会 場：サンピア敦賀(敦賀市) 参加者：会員5名、家族5名
平成6年度	5月16日 会報[第5号]
	6月21日 総 会 会 場：そば道場(今庄町) 出席者：6名(本部から長屋理事) 懇親会(そば道場、おとと村) 参加者：会員6名、家族13名、長屋理事
平成7年度	6月23日 総 会 会 場：福井ワシントンホテル・銀坐(福井市) 出席者：15名(本部から小山田理事) 懇親会(同所)
	10月15日 参加者：会員11名、小山田理事 会報[第6号]、名簿発行

平成8年度	6月28日 総 会 会 場：割烹 おお田(福井市) 出席者：16名(本部から松山会長) 懇親会(同所) 参加者：会員16名、松山会長
	3月15日 会報[第7号]、名簿発行
平成9年度	8月23日 総 会 会 場：今庄アルペンローズ365(今庄町) 出席者：8名(本部から市川理事)
	8月24日 懇親会(同所) 参加者：会員8名、家族4名、市川理事
	夜叉ヶ池登山 参加者：会員6名、家族7名
平成10年度	11月15日 会報[第8号]、名簿発行
	6月26日 総 会 会 場：グリン英(福井市) 出席者：17名(本部から小山田理事) 懇親会(同所) 参加者：会員17名、小山田理事
10月15日 会報[第9号]、名簿発行	
平成11年度	6月25日 総 会 会 場：くろ川(福井市) 出席者：12名(本部から小山田理事) 懇親会(同所)
	1月15日 参加者：会員12名、小山田理事 会報[第10号]、名簿発行
平成12年度	11月17日 総 会 会 場：福井ワシントンホテル・銀坐(福井市) 出席者：10名(本部から秋田理事) 懇親会(同所)
	3月10日 参加者：会員10名、秋田理事 会報[第11号]、名簿発行
平成13年度	7月8日 総 会 会 場：勝山ニューホテル(勝山市) 出席者：8名(本部から市川理事) 懇親会(福井県立恐竜博物館、越前大仏) 参加者：会員7名、小山田理事
	11月15日 会報[第12号]、名簿発行
平成14年度	6月28日 総 会 会 場：福井厚生年金会館(福井市) 出席者：11名 懇親会(同所)
	10月15日 参加者：会員11名 会報[第13号]、名簿発行
平成15年度	5月25日 総 会 会 場：敦賀きらめき温泉 リラ・ポート(敦賀市) 出席者：10名(本部から秋田理事) 懇親会(同所)
	10月15日 参加者：会員10名 会報[第14号]、名簿発行
平成16年度	7月9日 総 会 会 場：グリン英(福井市) 出席者：7名 懇親会(同所)
	1月15日 参加者：会員7名 会報[第15号]、名簿発行
平成17年度	10月29日 総 会 会 場：越路(あわら市) 出席者：8名(本部から丸山浩一教授、稲垣理事) 懇親会(同所)
	参加者：会員7名、丸山浩一教授、稲垣理事

会計報告

平成16年度決算

平成16年4月1日～17年3月31日

● 収入の部

科目	予算額	決算額	増(△)・減
前期繰越金	19,609	19,609	0
年会費	60,000	67,000	△ 7,000
通信費援助金	20,000	22,000	△ 2,000
総会開催祝金	50,000	50,000	0
雑収入	30,001	1	30,000
合計	179,610	158,610	21,000

☆通信援助金は、総会案内の発送件数に応じて同窓会本部から支給されています。
(1人当たり200円)

☆総会開催祝金は、毎年総会時に同窓会本部からいただいています。

● 支出の部

科目	予算額	決算額	増(△)・減
名簿関係費	20,000	12,600	7,400
会報関係費	60,000	60,000	0
総会費	30,000	15,480	14,520
懇談会費	30,000	21,000	9,000
会議費	20,000	10,801	9,199
慶弔費	0	0	0
事務費	5,000	2,020	2,980
事業費	6,000	5,400	600
(小計)	171,000	127,301	
予備費	8,610	0	8,610
事業用積立金	0	0	0
次期繰越金	0	31,309	△ 31,309
合計	179,610	158,610	21,000

■ 会費を納めていただきありがとうございます。福井県支部の運営は、皆様からの会費ならびに参加費によって行われています(会報及び会員名簿は、名簿に記載されている全員の方々に送付されています)。今後ともよろしくお願い致します。

年額 2,000円/人(ご夫婦では 3,000円)
(郵便振替) 00710-8-24950 北里大学同窓会 福井県支部

平成17年度予算

平成17年4月1日～18年3月31日

● 収入の部

科目	予算額
前期繰越金	31,309
年会費	60,000
通信費援助金	20,000
総会開催祝金	50,000
雑収入	100,001
合計	261,310

● 支出の部

科目	予算額
名簿関係費	20,000
会報関係費	60,000
総会費	25,000
懇談会費	100,000
会議費	20,000
慶弔費	0
事務費	5,000
事業費	6,000
(小計)	236,000
予備費	25,310
事業用積立金	0
次期繰越金	0
合計	261,310

今、思うこと……

最近、臨床検査技師の採用にあたり、感じていることがあります。学校で求人票が来るのを待っている学生が多く、夏休みなどを利用して自ら施設見学や情報収集に出向いて行かないと聞きます。また、報酬、休暇、福利厚生などの条件を業務内容より優先して考えているようです(大切な事ではありますが…)

それは、“就職=社会での自立”についての意識が低下するとともに、職業観が多様化している現われでしょうか？ 私たちは専門知識と実践のレベルが高く、倫理観が豊かな自立した人材を求めています。その反面、今の学生は将来の希望や夢が乏しく、夢を持ったとしても辛抱してそれを可能にする努力をしない。言い換えれば、“打たれ強い人間”が育たなくなったようにも思われます。

かつてあれほど言われた“ゆとり”と“総合的な学習”、そして“生きる力”を育む教育はどこに消えてしまったのでしょうか？ 教育機関のみならず、家庭や社会での教育力低下や生活行動力が弱い人が多くなったとは思いませんが、何か矛盾を感じています。

今盛んに言われている「教育再生」や「美しい国、日本」はいい言葉だし、スローガンとしてはすばらしいと思いますが……。でも、子供たちが間違っただ大人を見て「これでいい」と思うことが無いようにすることが大切だと考えます。(Z. I)

とにかく具体的に動いてみるんだね
具体的に動けば具体的な答が出るから
相田みつを



あしあと (編集後記)

- 今年、雪の少ない穏やかな冬でした。皆様はどのように過ごされたのでしょうか？
- 個人的な事で恐縮ですが、去年は仕事以外にホームページや業務ソフトの制作、近畿医学検査学会の運営で慌しくしていました。ようやく体力と気持ちに“ゆとり”ができましたので、2月中旬から会報づくりに取りかかりました。原稿を出して下さった方々には、大変遅くなったことを深くお詫び致します。
- 何年か経ってからこの会報をご覧になった時、社会で何があったのかを思い出していただくために、出来事を書いておきます。平成19年1月…暖冬(地球温暖化が原因か?)、鳥インフルエンザが発生(宮崎県、岡山県)、某大手製菓会社のずさんな食品衛生管理が発覚、Windows Vistaが新発売、2月…北朝鮮の核放棄に向けた6か国協議の再開、米国がイラクへの派兵を増強、3月…例年より早い桜の開花、志賀原発の臨界事故が発覚 など。
- 長野県支部のホームページが開設されました(p.7で紹介)。皆様も是非ご覧になってください。
- 今年も福井県支部総会・懇親会が予定されています。いつも参加者が少ないので、心よりお待ちしております。(伊藤 記)

■ 編集

伊藤 善祐 江島 昌希
宮川 人美

■ 発行日

平成19(2007)年3月15日

■ 発行責任者

清水 賢涼

■ 事務局

〒914-0047
敦賀市東洋町6-66 清水方
TEL (0770)25-6593